

明治時代、華族女学校の創設者が制服として女袴を発案し、上流階級の人達が通う女学校で、当時、イスに座つたり、立つたりする機会が増え、着物のすその乱れを気にする学生にとって、すそが乱れず、歩きやすい袴が、制服として採用され着用されるようになつたのがきっかけで普及していきました。次第に、袴は女學生の象徴という意識になり、今でも卒業式の正装として認識されているようです。

卒業生が袴に合わせる着物の種類は基本的に特別な決まり事はありません。女性は成人式の際に着用した中振袖や、二尺袖、訪問着等に袴を組み合わせ着用します。男性の場合は紋付袴を着用します。

想ひで惟い（おもいでおもい）

卒業式

～記念日の想いでをデザインする着物レンタル～

KANEMATA ANNIVERSARY STYLEBOOK



カネマタ衣裳店 スタッフ一同

この度は誠におめでとうございます。

この冊子は、記念日の意味合いや所作を知つていただくこと、

記念日をより一層、有意義に過ごしていただくために生まれました。

衣裳を貸すだけではなく、

皆様の記念日の想いでをデザインできたのなら幸いです。

良き一日となることを願つております。

KANEMATA

— つなぐ想いで —

〒475-0855 愛知県半田市中町1-74
TEL 0569-21-1085
AM9:00～PM6:00[定休日:水曜]
(祝日の場合は営業)



ネットレンタル
卒業式



◎卒業生のお母様が着物を着用する場合

◎女性の教職員が袴を着用する場合

卒業生のお母様が着物を着用する場合 卒業式では、訪問着か付け下げと礼装用の袋帯の組み合わせが一般的です。色合いは明る過ぎず暗過ぎず、淡い色合いの落ち着いた柄のものを。また一つ紋付の色無地に礼装用の袋帯を合わせて出席される方もいます

女性の教職員の方が袴を着用する場合 付け下げや訪問着、色無地に袴を合わせて着用される方が多いです。着物の色合いや柄についてには、主役である卒業生が引き立つよう、派手すぎず地味になりすぎず、シンプルで華やかなものにされる方が多いようです。袴は無地やぼかしを合わせる組み合わせがほとんどですが、上品で落ち着いた刺繡の物を着用される方もいます。

ブーツ
草履
or

巾着について

袴の時に履くものとして、草履とブーツで悩まれる方がいます。実際に着用される割合として、半々と思います。まずは、着物・袴を選び、それに似合った方を選ばれるといいと思います。また、式場が屋内で靴を脱がないといけない場合だと、履き脱ぎがしやすい草履がいいです。

ブーツの利点としてヒールが高いものがあったり、草履と比べたら暖かい袴用のブーツなどが販売やレンタルされています。黒や茶色が一般的ですが、よく決まりはないので、普段でも使える、着物に似合うものを見つけるのも良いかもしれません。



袴に似合う鞄としてはやはり巾着があげられます。一般的には袋状の鞄に紐で結ぶタイプが多いですが、様々な種類や形があります。せっかくなので一緒にあるとよりかわいく見えます。ただ、大きさからしてあまり多くのものが入ります。

- 携帯
- 財布
- ICカードや定期
- ハンカチ、ティッシュ
- ボールペンなど筆記具(卒業式後の事務作業など、書類を書く場合があるので)
- メイク道具や手鏡

などがあればいいかと思います。

CEREMONY STYLE & MANNERS



立ち振る舞い方

[イスに座る際]

袴を引っ張るように座ってしまうと、袴と背中の間にすき間が出来てしまったり、帯が下がってしまうので、手で少し持ち上げるようにしながら手でおさえヒダがみだれないよう注意しながら少し浅く座ります。

[階段の昇り方]

袴の前側を少しだけまみ上げると袴を踏みにくく昇りやすくなります。

[トイレの行き方]

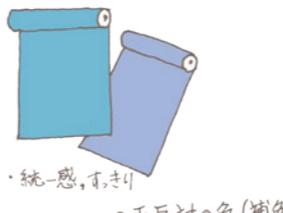
袖は邪魔にならないよう袂を帯に挟みます。下は袴、着物、襦袢、裾よけの順番で持ち上げ、着物が袴を、襦袢が着物を、というように後に持ち上げたもので共に持ち上げたものをくるむと抱えやすいです。下ろす際は逆の順番で一枚ずつ戻していきます。袴のヒダがめくれていたり、乱れていないか確認してください。

コーディネートのポイント

- 同じ色の濃淡で着物・袴を合わせると、統一感が出て、すっきりした印象になります。
- 正反対の色(補色)で組み合わせると、互いを引き立て、はっきりした感じになります。
- 帯は着物・袴とは違った色を選ぶと引き締まった印象になり、着物に含まれている色で選ぶとまとまった雰囲気がでた仕上がりになります。

コーディネートに正解はありませんので、自分が気に入る合わせ方を楽しみながら見つ

○同系色で選ぶ



○正反対の色(補色)



○含まれている色で選ぶ



卒業生が袴に合わせる着物の種類

二尺袖の着物が一般的です。しかし、振袖や小紋などの着物でも大丈夫です。着物の裾に柄のある振袖や小紋などの着物は袴の下で裾の柄などが隠れてしまいますが、お手持ちの着物を活用するのも素敵です。紋のある着物や喪服に袴を合わせても大丈夫です。

[二尺袖(小振袖)]

袖の長さが約76cm(二尺)の着物の事をいいます。卒業式で袴と合わせて着用されることが多い着物です。

[中振袖]

袖丈が約100cm前後の着物の事をいいます。成人式で着想される振袖はこの中振袖です。卒業式でも袴と組み合わせて着用する事が出来ます。二尺袖に比べて袖の丈が長く、華やかな印象になります。

